

施策名【スポーツ】

| 章 | 節 | 施策 | | 主要施策 | 事務 事業 コード | 事 業 数 | 事務事業 | 課 | 係 | 管理 方法 | 備考 | | |
|-------------------------|--------------------|--------|-----|-----------|-----------------|----------------------------|-------------|---------|-------------|----------|------------|-------|-----------|
| 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 | 3.スポーツ | (1) | 生涯スポーツの振興 | 1231-1 | 1 | 体育大会等開催事業 | スポーツ課 | スポーツ推進係 | 通常 | | | |
| | | | | | 1231-2 | 2 | 海の家開設事業 | スポーツ課 | スポーツ推進係 | 通常 | | | |
| | | | | | 1231-3 | 3 | スポーツ少年団運営事業 | スポーツ課 | スポーツ推進係 | 通常 | | | |
| | | | (2) | 競技スポーツの振興 | 1232-1 | 4 | 体育団体等支援育成事業 | スポーツ課 | スポーツ推進係 | 通常 | | | |
| | | | | | (3) | 東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進 | 1233-1 | 5 | ホストタウン交流等事業 | スポーツ課 | スポーツ推進係 | 通常 | H29年度新規事業 |
| | | | | | | | (4) | 体育施設の充実 | 1234-1 | 6 | 体育施設管理運営事業 | スポーツ課 | スポーツ施設係 |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|--------|----------|---------|----------|
| 事業名 | 体育大会等開催事業 | | | 事務事業コード | 1231-1 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ推進 係 | 事業開始年度 | 平成 17 年度 |
| 事業の性質 | 義務的自治事務(不定型) | 法定根拠 | 社会教育法 | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること スポーツへの参加機会の提供により、市民がスポーツに親しみながら健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりが図られている。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【事業概要(目標開催数)】 スポーツ大会59大会(市全体対象14、都市間交流3、体協主催42)、各種スポーツ教室37教室(中学生以上対象10、一般対象25、制限なし1、親子1)を開催する。 【開催運営方法】 各競技団体や指導者と協議し、前年度に翌年度の年間スケジュールをたて、開催月の2~3か月前に開催要項案を作成し、市の広報で周知する。 スポーツ大会・教室の開催運営は(特非)佐久市スポーツ協会に指定管理業務の一部として委託している。(参加費等の収受も含む) 【周知方法】 市の広報紙、FMさくだいら、ポスター掲示、ホームページにより周知する。 | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | |
|--------------------------|---------------|---------|--------|---------|-------|---------|-------|
| コスト | 事業費 | 6,839 | | 3,556 | | 20,284 | |
| | 人件費 | 1.75 人 | 11,900 | 0.65 人 | 4,453 | 0.65 人 | 4,453 |
| | 非常勤職員等 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | 人件費合計 | 11,900 | | 4,453 | | 4,453 | |
| | 総事業費 | 18,739 | | 8,009 | | 24,737 | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 一般財源 | 18,739 | | 8,009 | | 24,737 | |
| | 財源合計 | 18,739 | | 8,009 | | 24,737 | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | スポーツ大会は35大会を実施した。スポーツ教室は全37教室を開催した。 なお、新型コロナウイルスの感染を懸念し一部中止となったスポーツ大会があった。 |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|----------|----|-----|---------|---------|---------|
| 大会・教室実施数 | 回 | 実績 | 48 | 72 | |
| | | 目標 | 96 | 96 | 96 |
| | % | 達成率 | 50.0% | 75.0% | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 参加者数 | 人 | 実績 | 3,402 | 8,023 | |
| | | 目標 | 22,500 | 22,500 | 25,500 |
| | % | 達成率 | 15.1% | 35.7% | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|----------|---|---|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> |
| | 概ね達成 | 新型コロナウイルスの感染予防により、予定していたスポーツ大会で開催できないものがあった。 |
| 官民連携の可能性 | 方法 | <説明> |
| | 民間への委託が可能 | 社会教育法に基づき、市は大会等の開催、奨励の必要性があり、また、市主催のスポーツ大会、教室は収益性が無く、スポーツ大会や行政による都市間交流、初心者向けの教室の企画・実施については、ある程度市が関与する必要がある。 |
| 事業の課題 | 市民のスポーツに参加する機会の充実と市民の体力向上を図るためには、市内各競技団体を統括している佐久市スポーツ協会を核にスポーツ推進委員会及び総合型スポーツクラブが連携してスポーツ振興を進められるよう対応していく必要がある。 | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の方向性 | 現行どおり | 期間・時期 | 令和 | 年度 | ～ | 令和 | 年度 |
|---------|---|-------|----|----|---|----|----|
| 今後の取組方針 | <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 佐久市スポーツ教室開催事業は令和4年度より佐久市スポーツ協会へ指定管理業務の一部として業務を委託した。 既に、指定管理業務に含まれるスポーツ大会開催業務とともに総合的なスポーツ振興を進めることで、市民のスポーツに参加する機会の充実と市民の体力向上を図り、各競技団体の競技者人口の増加へつなげていく。 | | | | | | |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|--------|----------|---------|----------|
| 事業名 | 海の家開設事業 | | | 事務事業コード | 1231-2 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ推進 係 | 事業開始年度 | 平成 17 年度 |
| 事業の性質 | 任意の自治事務(不定型) | 法定根拠 | | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (賃借料) | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること 海に接する機会の少ない市民が家族や仲間と海の家を利用し、海水浴を楽しんだり、心身のリフレッシュがされている。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【事業概要】 新潟県上越市谷浜海岸「いそや旅館」と施設借上契約を結び、6月1日から11月15日までの間、市民に対し、一般よりも安い料金設定により宿泊サービスを提供する。 【開催運営方法】 宿泊希望者は事前に旅館へ予約連絡の後、ながの電子申請サービスを使ってスポーツ課へ申し込む。 利用料の支払いは割引後の宿泊料を利用者が直接旅館へ直接支払う。 利用者数の実績に基づき、市は旅館へ割引に伴う差額を支払う。 【周知方法】 保育園や小学校の園児・児童分のチラシを作成し、学校を通じて配布する。また、市広報紙・ホームページ・FMさくだいら等で周知する。 | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | |
|--------------------------|---------------|---------|-----|---------|-------|---------|-------|
| コスト | 事業費 | 1,007 | | 668 | | 1,007 | |
| | 人件費 | 0.10 人 | 680 | 0.25 人 | 1,713 | 0.25 人 | 1,713 |
| | 非常勤職員等 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | 人件費合計 | 680 | | 1,713 | | 1,713 | |
| | 総事業費 | 1,687 | | 2,381 | | 2,720 | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 一般財源 | 1,687 | | 2,381 | | 2,720 | |
| | 財源合計 | 1,687 | | 2,381 | | 2,720 | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | 開設期間は例年通り(6月1日～11月15日)とし開設 利用実績はコロナ禍前の水準には届かないものの、一定程度の利用があった。 申込方法を窓口受付方式からインターネット経由(原則ペーパーレス)の申込へ変更した。 デジタルデバйд対策として、紙ベースによる申し込みも併用(窓口は76件中9件) 借上料の支払い方法を実績に基づく清算方式へ変更した。 |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|-----------|----|-----|---------|---------|---------|
| 海の家開設延べ日数 | 日 | 実績 | 138 | 138 | |
| | | 目標 | 138 | 138 | 138 |
| | % | 達成率 | 100 | 100 | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 海の家利用者数 | 件 | 実績 | 75 | 226 | |
| | | 目標 | 350 | 350 | 350 |
| | % | 達成率 | 21.4% | 64.6% | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|----------|--|--|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> |
| | 未達成 | 利用者実績は、新型コロナウイルス感染症の影響により以前の利用者数の水準には戻っていない状況。 |
| 官民連携の可能性 | 方法 | <説明> |
| | 市が実施する必要がある | 安価で、安全に市民の方に利用していただくためには、市で関与していく必要がある。 |
| 事業の課題 | 佐久市内でも海の家が認知していない方もいる。 インターネット申込によって便利に利用できることをPRし、利用者数の向上を図る必要がある。 令和2年から利用期間を11月15日まで延長しているが、8月以降の利用者数は伸び悩んでいる。今後、見直しが必要である。 | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の方向性 | 手法等の見直し | 期間・時期 | 令和 年度 ~ 令和 年度 |
|---------|---|-------|---------------|
| 今後の取組方針 | <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 令和元年度から、開設期間の延長や素泊まりプランを設定するなどの見直しを行ったが、夏休み期間以外の利用は低調であったことから、開設期間等の見直しを行う。 また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ここ数年間の利用が低調であることを踏まえ、今後の利用者数の推移を見ながら、制度のあり方を見直しをしていく。 | | |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|--------|----------|---------|-----------|
| 事業名 | スポーツ少年団運営事業 | | | 事務事業コード | 1231-3 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ推進 係 | 事業開始年度 | 平成 17 年度 |
| 担当者 | 三浦 達弥 | | 係 長 | 三浦 達弥 | 課等の長 木内 進 |
| 事業の性質 | 任意の自治事務(不定型) | 法定根拠 | | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること 青少年のスポーツを振興することにより、青少年の心身が健全に育成されている。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【事業概要】 (特非)佐久市スポーツ協会へ指定管理の業務として、佐久市スポーツ少年団本部事務局の運営委託を行う。 市内に練習施設がない競技の少年団への補助を継続して行なう。 スポーツ少年団が市内社会体育施設を利用する際の施設使用料の免除 | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | | |
|--------------------------|---------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|-----|
| コスト | 事業費 | 13 | | 8 | | 300 | | |
| | 人件費 | 常勤職員 | 0.05 人 | 340 | 0.05 人 | 343 | 0.05 人 | 343 |
| | | 非常勤職員等 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | 人件費合計 | | 340 | | 343 | | 343 | |
| 総事業費 | | 353 | | 351 | | 643 | | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 0 | | 0 | | 0 | | |
| | 一般財源 | 353 | | 351 | | 643 | | |
| | 財源合計 | 353 | | 351 | | 643 | | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | スポーツ施設の使用料免除 市内に練習施設の無い団体へ施設利用費等の補助を行う。 本年度補助団体実績: 1 団体(全佐久スピードスケート少年団) |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|----------------------------------|----|-----|---------|---------|---------|
| スポーツ少年団 加入者割合 | % | 実績 | 21.6 | 20.7 | |
| | | 目標 | 25 | 25 | 25 |
| | % | 達成率 | 86.4% | 82.8% | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 長野県スポーツ少年 団主管大会 参加団 (チーム)数 | 団 | 実績 | 49 | 48 | |
| | | 目標 | 60 | 60 | 60 |
| | % | 達成率 | 81.7% | 80.0% | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|--------------|--|--|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> |
| | 未達成 | 少子化が進む中ではあるが、スポーツ少年団への加入割合はほぼ横ばいの推移である。 新型コロナウイルス感染症が落ち着きはじめ、各種大会が再開し始めたものの、一部は中止となっておりコロナ禍以前の実績に到達しなかった。 |
| 官民連携の 可能性 | 方法 | <説明> |
| | 民間への委託が可能 | 平成29年度より、(特非)佐久市スポーツ協会へ指定管理の業務として、佐久市スポーツ少年団本部事務局の運営委託を行っている。(補助金事業を除く) |
| 事業の 課題 | スポーツ少年団の加入率は横ばいであるが、少子化に伴い、スポーツ少年団団員数は減少傾向にある。 競技によっては小中学校区単位での活動から、広域的なスポーツ活動への移行を検討する段階を迎えている。 また、指導者の高齢化が課題であり、競技経験のある現役世代に指導者を育成していく必要がある。 | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の 方向性 | 現行どおり | 期間・時期 | 令和 | 年度 | ～ | 令和 | 年度 |
|-------------|---|-------|----|----|---|----|----|
| 今後の 取組方針 | <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> | | | | | | |
| | 競技力の向上と指導者の育成を図るために、(特非)佐久市スポーツ協会と連携して取り組む必要がある。 市内に練習施設がない団体への補助は、継続的に行う。 | | | | | | |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|--------|----------|---------|----------|
| 事業名 | 体育団体等支援育成事業 | | | 事務事業コード | 1232-1 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ推進 係 | 事業開始年度 | 平成 17 年度 |
| 事業の性質 | 任意の自治事務(不定型) | 法定根拠 | | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること 各種スポーツ活動が個人・団体ともに活発に行われ、地域全体でスポーツの普及・振興が図られている。また、佐久市のスポーツ競技団体の集合体である佐久市スポーツ協会や関係団体が、各種スポーツ大会を開催するなど、市民ニーズに応えるスポーツ振興等を図っている。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【佐久市スポーツ協会補助金交付要綱による交付】 スポーツにより、市民の体力向上や健康の維持・増進・競技力の向上を図るため、スポーツ競技団体が加入する(特非)佐久市スポーツ協会運営経費(各支部活動、競技部・スポーツ少年団への助成、広報誌の発行など)について補助金を交付する。 【佐久市スポーツ大会出場激励金交付要綱による交付】 全国大会等出場者へ励ましの意を表す激励金を交付する。(中学生以下はそれぞれ半額) ●個人出場(1人): 10千円 ●団体出場(10人以上): 100千円 ●国際大会(国内大会1人): 20千円 (国外大会1人): 30千円 ●オリンピック・パラリンピック競技大会: 100千円 | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | |
|--------------------------|---------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| コスト | 事業費 | 5,945 | | 6,755 | | 6,570 | |
| | 人件費 | 0.55 人 | 3,740 | 0.25 人 | 1,713 | 0.25 人 | 1,713 |
| | 非常勤職員等 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | 人件費合計 | 3,740 | | 1,713 | | 1,713 | |
| | 総事業費 | 9,685 | | 8,468 | | 8,283 | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 一般財源 | 9,685 | | 8,468 | | 8,283 | |
| | 財源合計 | 9,685 | | 8,468 | | 8,283 | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | スポーツ協会の活動に対する補助(4支部、34競技団体等への補助及び広報活動、4,570千円) 全国大会出場等激励金(61件、2,185千円) |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|----------------------------|----|-----|---------|---------|---------|
| 競技人口 (体協加入数、スポ少 加入数) | 人 | 実績 | 5,546 | 5,096 | |
| | | 目標 | 10,300 | 10,300 | 10,300 |
| | % | 達成率 | 53.8% | 49.5% | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 全国大会出場激励金 交付件数 | 件 | 実績 | 38 | 60 | |
| | | 目標 | 40 | 40 | 40 |
| | % | 達成率 | 95.0% | 150.0% | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|--------------|--|--|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> |
| | 未達成 | 競技を問わず、市内の競技人口は減少傾向が続いている。 全国大会出場件数は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きから、全国大会が再開されており、実績は大きく好転している。 |
| 官民連携の 可能性 | 方法 | <説明> |
| | 民間への委託が可能 | (特非)佐久市スポーツ協会へ指定管理とし、各競技団体の育成等行っている。 全国大会出場に対する激励金については、引き続き市で行う必要がある。 |
| 事業の 課題 | (特非)佐久市スポーツ協会はソフト面(体育団体の育成等)とハード面(社会体育施設の管理)を包括的に業務を委託している。 今後、佐久市スポーツ協会の運営状況をみつつ、補助金のあり方の見直しを要する。ただし、体育団体の育成は、スポーツ振興事業を実施するうえで必要不可欠であるので、十分な検討を重ねる必要がある。 | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の 方向性 | 手法等の見直し | 期間・時期 | 令和 | 年度 | ～ | 令和 | 年度 |
|-------------|--|-------|----|----|---|----|----|
| 今後の 取組方針 | <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 行政目的を達成するための施策の一つとして、一定の効果が認められるため、当面の間、現行どおり継続する。 スポーツ協会補助金は終期を定め補助額の妥当性の確認することについて、次期の指定管理者更新時期(令和9年)を目途に、組織体制の整備状況を見極めながら、より良い成果が得られるよう、制度のあり方について見直しを行う。 | | | | | | |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|---|--------|----------|---------|----------|
| 事業名 | ホストタウン交流等事業 | | | 事務事業コード | 1233-1 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ推進 係 | 事業開始年度 | 平成 29 年度 |
| 事業の性質 | 任意の自治事務(不定型) | 法定根拠 | | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|---|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、ホストタウンとしてエストニア共和国選手団の事前合宿の受入れ及び関連事業の実施した。令和4年度は本大会終了後のレガシー事業としてスポーツを通じ、交流等を図る。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【事業概要】 オリンピックレガシー事業 オリンピアンとの交流事業の開催 (大迫傑選手によるスポーツ教室&トークショー) | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | | |
|--------------------------|---------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---|
| コスト | 事業費 | 47,564 | | 2,297 | | 0 | | |
| | 人件費 | 常勤職員 | 1.40 人 | 9,520 | 0.50 人 | 3,425 | 0.00 人 | 0 |
| | | 非常勤職員等 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | | 人件費合計 | 9,520 | | 3,425 | | 0 | |
| 総事業費 | | 57,084 | | 5,722 | | 0 | | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 0 | | 0 | | 0 | | |
| | 一般財源 | 57,084 | | 5,722 | | 0 | | |
| | 財源合計 | 57,084 | | 5,722 | | 0 | | |

【参考】イベント等の出役に係る人件費

| イベント等の名称 | | 大迫傑選手によるスポーツ教室&トークショー | | |
|----------------|-------|-----------------------|---------|--|
| 実施年度 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | |
| 出役人数 (延べ人数) | 1日 | 人 | 9 人 | |
| | 半日 | 人 | 人 | |
| | 2時間以下 | 人 | 人 | |
| 出役に係る人件費 | | 0 千円 | 247 千円 | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | 2020東京オリンピックレガシー事業(大迫傑選手によるスポーツ教室及びトークショー) 開催日:令和4年6月12日 開催場所 佐久総合運動公園陸上競技場、佐久平交流センター スポーツ教室 76名(小学生の部41名・中学生の部35名) トークショー 290名 テーマ「挑戦的な新しい選択を見つけ、挑戦し続けるためには」 ゲスト:佐藤 悠基 選手(佐久長聖高校 出身) |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|---------------------------------|----|-----|---------|---------|---------|
| ホストタウン交流計画 に基づく開催イベント 数 | 回 | 実績 | 6 | 1 | |
| | | 目標 | 4 | 1 | |
| | % | 達成率 | 150 | 100 | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 東京オリンピック・パラ リンピックの事前合宿 国数 | 国 | 実績 | 1 | — | |
| | | 目標 | 1 | — | |
| | % | 達成率 | 100 | — | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|--------------|--|--|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> |
| | 達成 | コロナ禍での様々な制限がある中で、大迫選手を招き、スポーツ教室・トークショーが開催できた。 |
| 官民連携の 可能性 | 方法 | <説明> |
| | 市が実施する 必要がある | ホストタウン交流等事業については、地方自治体が行うものであるため、引き続き市で実施していく。 |
| 事業の 課題 | <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び関連の事業が終わった事で、スポーツ交流を通じたホストタウン交流等事業は一区切りとなった。</p> <p>今後、2025年世界陸上競技選手権大会(会場:東京 国立競技場)等が予定されている。エストニア共和国からホストタウンとして協力を求められた場合には、対応を検討する必要がある。</p> | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の 方向性 | 完了 | 期間・時期 | 令和 4 年度 | ～ 令和 年度 |
|-------------|----|-------|---|---------|
| 今後の 取組方針 | | | <p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <p>エストニア共和国との交流の取組が一過性で終わることのないように、これまで築いてきた関係性を生かし、庁内関係各課と連携し、スポーツ交流のほか、子ども交流等を通じて、エストニア共和国との友好関係の継続に努める。</p> | |

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|---|--------|----------|---------|----------|
| 事業名 | 体育施設管理運営事業費 | | | 事務事業コード | 1234-1 |
| 担当 | 社会教育 部 | スポーツ 課 | スポーツ施設 係 | 事業開始年度 | 平成 17 年度 |
| 事業の性質 | 任意の自治事務(不定型) | 法定根拠 | | | |
| 管理方法 | 通常 | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |

1. 事業概要「Plan(計画)」

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 総合計画上の位置付け | 章 | 1.生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり |
| | 節 | 2.主体的、創造的な学びと文化の熟成 |
| | 施策 | 3.スポーツ |
| 目的・成果 | ※わかりやすく簡潔に記載すること 市民のニーズに対応した施設の維持管理がされている。 社会体育施設の計画的な整備及び機能向上により、地域住民の健康、体力向上につながっている。 | |
| 事業内容 (手段・方法など) | ※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【概要】市内48の体育施設の維持管理・貸出し・要望への対応 【開館時間】6時から21時30分 【閉館日】12月29日から1月3日及び清掃日を除く日 (グラウンドについては12月から3月の冬季は閉鎖) 【民間委託】体育施設の維持管理・運営を指定管理とし市民サービスの向上を図る。 毎月、使用月の1ヶ月前に抽選を行い、平等に体育館を使用できるようにしている。 社会体育施設については、予約システムを導入しており、インターネット上での抽選の申込み及び仮予約ができるようになっている。 学校開放施設については、従来どおり毎月最初の平日に抽選会を実施している。 老朽化している体育施設の調査を実施し、計画的に改修を図る。 | |

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

| ※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算 | | 令和 3 年度 | | 令和 4 年度 | | 令和 5 年度 | |
|--------------------------|---------------|---------|-------|---------|--------|---------|--------|
| コスト | 事業費 | 295,711 | | 416,135 | | 848,686 | |
| | 人件費 | 1.45 人 | 9,860 | 2.10 人 | 14,385 | 2.10 人 | 14,385 |
| | 非常勤職員等 | 696 時間 | 696 | 0 時間 | 0 | 0 時間 | 0 |
| | 人件費合計 | 10,556 | | 14,385 | | 14,385 | |
| | 総事業費 | 306,267 | | 430,520 | | 863,071 | |
| 財源内訳 | 特定財源(国・県支出金等) | 35,950 | | 43,557 | | 722,914 | |
| | 一般財源 | 270,317 | | 386,963 | | 140,157 | |
| | 財源合計 | 306,267 | | 430,520 | | 863,071 | |

| | |
|-----------------|---|
| 令和 4 年度 実施内容 | 市内44の体育施設及び佐久総合運動公園の維持管理、運営について、それぞれ特定非営利活動法人佐久市体育協会、シンコースポーツを指定管理者とし、市民サービスの向上を図った。 佐久総合運動公園陸上競技場の第2種公認更新改修工事を実施し、認定コースとして継続を図った。 臼田総合運動公園大規模改修工事を計画的に実施し機能強化を図った。 |
|-----------------|---|

| 活動指標 | 単位 | | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|--------|----|-----|---------|---------|---------|
| 開館日数 | 日 | 実績 | 359 | 359 | |
| | | 目標 | 350 | 359 | 360 |
| | % | 達成率 | 102.6 | 100.0 | |
| 成果指標 | 単位 | | | | |
| 延べ利用者数 | 人 | 実績 | 538,797 | 591,402 | |
| | | 目標 | 720,000 | 720,000 | 720,000 |
| | % | 達成率 | 74.8 | 82.1 | |

3. 事業の分析「Check(評価)」

| | | |
|----------|---|---|
| 達成状況 | 達成度 | <説明> 指定管理制度の導入や劣化した体育施設の改修を順次進めながら、利用サービスや施設環境の向上に努めている。 |
| | 未達成 | 新型コロナウイルスの影響により、各種大会の中止等や施設利用者の減少傾向にある中で、感染対策を講じながら施設開放することにより、昨年度と比べ利用者数が回復する結果となった。 |
| 官民連携の可能性 | 方法 | <説明> |
| | 民間による実施が可能 | 指定管理制度の導入を図ったことで、社会体育施設の管理運営などの利便性が向上した。 |
| 事業の課題 | 施設の経年劣化に伴う老朽化や、ユニバーサルデザイン化など、利用者が安全に安心して利用できるよう改修や機能向上を推進する必要がある。 | |

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

| 事業の方向性 | 現行どおり | 期間・時期 | 令和 | 年度 | ～ | 令和 | 年度 |
|---------|--|-------|----|----|---|----|----|
| 今後の取組方針 | <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 個別施設計画を踏まえた計画的な整備や機能の充実を推進しながら、体育施設の長寿命化を図るとともに、適性な維持管理を行い、利用者が継続して安全にスポーツに親しめるよう努める。 指定管理者制度の導入により体育施設の効率的、効果的な管理運営となるよう指定管理者と連携、協働を図る。 | | | | | | |